1
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY

SEX
FANTASY
Cover Illustration
maco
Cover Design
Inako Yasushi[ERIDANUS]

くっ
な なぜこんなところに…
はっ あああっ 胸を… 触らないで… あああっ んっ
き 貴様は いったい なんなんだっ？

誰でもないさ ただ 俺に身を委ねて くれりゃいいい
はあっ あっ た 立ってられない あああんっ
ば 馬鹿な… あああんっ
やっ やあんっ …どうして こんなことを
愛だよ

何を言ってっ
はぁっ
はぁっ
クイッ
それに気持ちよく
なれるしな
いいことばかりだろ
んっ
ちゅっ
んっ
あっ
あんっ
あっ
あっ
あっ
パン
パン
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ

第1話
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY

CONTENTS

maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
1

数百年の間
メガレイシア大陸では
戦火が絶えたことはなく
常に争いが続いている
マスディニア帝国
メガレイシア大陸
特にこの数年は南方地域の
戦乱が激化し――
マスディニア帝国が
周辺国を呑み込みつつあった
ええい！
奴を止めろっ!!
相手は
たった一人だぞ!!
国王様
このままでは
くっ
撃てぇ！
奴が魔衣姫だろうと
我らの兵器ならばっ
はっ
ガチャッ

ドゴオッ
やったぞ!!

ばっ馬鹿な…!?
全軍進撃!
フォークス王を
討ち取れぇっ!!
オォォォォォ

この大勝で
南方地域は
マスディニア帝国が
大半を征すこととなる
残った国々にできることは
帝国の矛先が向く日が
少しでも遅いことを
祈るだけだった
あ おかわりくれ
あと燻製肉とチーズの
盛り合わせも追加で！
グイッ
ハア？
今日もツケのくせに…
よくもまあ次から次へと
注文できるわね

信用って
財産だなぁって
つくづく思うよ
へらっ
アンタに信用
なんてあるかーっ！
払うアテも
ないんでしょ？
出禁にするわよ
お金がないなら
私がごちそう
しましょうか？
でも あなたも
タダでおごられるのは
気が進まないでしょう？
いや別に？
だったら！
タダ飯タダ酒は
大歓迎だっ
ルー
ラムのステーキも
追加！
クイッ
…ん？
誰だ？ あんた

……
すみません お客さん この男 街でも屈指のロクデナシなんで
…わかりやすい紹介ですね…いえ 追加注文も払いましょう
物好きな人もいたもんね 代金がもらえるなら文句ないけどっ
ま ごゆっくりっ 何しろウチは料理美味しい 店員可愛い！
値段はすべて時価 店員可愛い‼ と評判のお店だからね 会計までは決して笑顔を絶やさない！
…料金はきちんとお支払いします
ぱあっ
いやー 気前のいいお姉さんだ あんた注文しないの？
その前に話の続きを
あなたはこの国をどう思いますか？
ふーん…

この国はもう終わりだろ
――っ!!
このアティナ王国は三百年以上領土を守ってきたが
西側は森林地帯を支配するエルフの部族連合国北側は領土拡大を進めるマスディニア帝国に隣接している
どちらかに滅ぼされるのは時間の問題だろ
そ それはっ
ガタッ
この街から逃げ出した奴も多いしな戦闘もナシで占領されるんじゃね?
でっですが
アティナにも魔衣姫がいますっ!!
魔衣姫ね…
コトッ

およそ二百年前

突如出現した
魔神たちによって
人類は滅亡寸前まで
追い込まれていた

だが未曾有の危機に
人類は奇跡的に団結
多大な犠牲と引き換えに
すべての魔神を討伐する

しかし
大陸の戦乱は続き——
魔神も消えて
なくなった
わけではなかった…

魔神の力を宿した美しき装束
魔衣へと姿を変え――
十代の少女たちの前に
再現したのだ
魔神の力は
単騎で一軍にも匹敵する
強大な力
戦場を稲妻のように
駆け回り数百数千の
軍隊を一振りで薙ぎ払う
魔衣に選ばれた少女たちの
多くはいずれかの国に与して
世界各地で戦いを
繰り広げている
たとえ
志半ばで倒れても
魔衣は次なる少女を選ぶ
そして新たな魔衣姫は
自ら戦いへと
身を投じる
それがずっと
繰り返されてきた

この世から戦乱を
終わらせるために
戦火を鎮めるために…
ほかにも方法が
あるかもしれない
モグ
モグ
いや
探せば間違いなく
あるんだろう
だが魔神たちは
戦うだけの存在
その力を継いだ
魔衣姫たちも
同じ…
そんな魔衣姫が
このアティナ王国にも
いる
この国の魔衣姫は
本物のお姫様
なんだよな 国王様の
たった一人の娘
俺も興味あるんだよ
そのお姫様にさ

大変な美少女らしい
キリッ
ぜひお目にかかりたい

この国の人間はエルソフィア姫を悪の化身のように思ってるな
まあ実際 アティナを滅ぼそうとしてる実質的指導者だけど
エルソフィア姫は十三のときに大国フォークスの王をその手で討ち取っている
それから二年の間エルソフィア姫を止められる者はいない
頭脳も明晰個人での戦闘能力はもちろん
軍の指揮能力にも長けている
ま
天姫様が軍を差し向けてくるのが少しでも後回しになるよう祈るしかないな
といってもエルフ連合にも
ぐずっ
?
パク
うああ～
がばっ
!?
ビクッ

あーあ 泣ーかした女を泣かすなんて救いようがないね
ーーコ!?
そ そんなのわかってますもん
でもっ しょーがないじゃないですかっ
ポロ
ポロ
アティナが強かったのは昔の話なんだからっ
えーと 俺が悪いのかな?
そうですっ シード・ネーキス! あなたが悪いんです!!
情緒不安定だなあんた
ってか 俺の名前を知ってんのか
この界隈で知らない人はいませんっ
毎日毎日お金も払わず朝から晩まで酒場でくだを巻いている人もめずらしいですから
ぐうの音もでない
ガ
ま… 名前くらいは知ってるか このところ俺にずーっと熱い視線を向けてたもんな
もぐ
もぐ
……っ!!

ぁ あなた
気づいて…？
だてに借金取りに
追い回されてるわけじゃない
気配には敏感なんだ
自慢になりますか
そんなもの！
ま まぁいいです
確かに私はあなたを
尾け回してました
毎日観察していました
開きなおったな
俺も暇だけど世の中
上には上がいるもんだなぁ
まったくあなたは！
朝から晩まで
うろちょろうろちょろと！
落ちつきというものが
見当たりません！
おだい…
酒場で見張ってたら
気がつけば姿を
消してるし
ひどい
言われようだな
やっと見つけたと思ったら
また別の酒場にいるし
ものを考えて生きてますか!?
ですがっ
バレているなら話は
早いです！
おぉ
まいどありっ
シード・ネーキス！
場所を変えましょう！
ガッ
そうだな
場所を変えるのは
俺も賛成だ
ただ急いだ
ほうがいい
きゃっ

ちょっと多いけどツケの利子ってことで!!
ダッ
はいよっ俺の金じゃないけど
ちょっいきなりどうしたんですかっ
いきなりはお互いさまだろっ
ここら辺でいいか
こんな人気(ひとけ)のない場所に連れ込んで何を
っちょっまたいきなりっ
ふー

よし 可愛い！
何がよしですか!!
いやぁ 噂には聞いてたけど本当に可愛いな
天姫に匹敵する美貌っていうのは本当だったな
アリーシャ姫
っ!?

面倒くさいから否定しなくていいぞ
キミが俺を見てたみたいに俺もキミを見てたから
なコなななななコ!!
あなたそこまでわかって!!
小国っていってもお姫様なんだし簡単に調べがつく
それより何より
これだけ可愛い子がこの国に二人いるとは思えないな
さっきから何を…可愛い可愛いと私をバカにしてるんですか!?
俺の生まれ故郷じゃ褒め言葉なんだが
この国でも褒め言葉ですよっ!
あれ?
それなら問題ないの?
……

ああっ もうっ
そんな話どうでもいいんです！
その通り 私はアティナ王国の
第一王女にして
王権代理執行者の
アリーシャ！
キャッ
こんなとこで
たいそうな名乗りを
上げられてもなー
あなたのせいでしょう
私はしかるべきところで
名乗るつもり
だったんです！
段取りを崩さないで
ください！
八つ当たりも
いいところだ
とにかく
あなたがシード・ネーキスで
間違いないんですね
人間のクズだけど
間違いなくシード・ネーキス
なんですね!?
そんなに名前を
連呼されても困るが…
いえ
そんなことより
クズ呼ばわりは
気にならないんで
すか!?
ジュッ

ダッ
バシッ
おおっ すげぇ！
かっこいい！
そ それほどでも…
って何をのんきに！
この矢はあなたを
狙ってましたよ！
俺が狙いか
それなら
いいんじゃねぇ？
よく
ありません！
死んでもらっては
困るんです！
まぁ人を困らせることに
関しちゃ 俺の
右に出る者はいないけど
そうみたいですね！
私も今まさに困っている
真っ最中ですから！
とにかく！
今は逃げます！
まずはあなたの安全をっ
そうは参りません
殿下！
っ！
ユラッ

近衛騎士隊！

なぜ あなたたちがっ!!
先ほどは失礼しました殿下 ですが我々が 本気だということは ご承知いただきたい！

うーん この人は可愛いというより 美人って感じだなぁ
お持ち帰りしたい
バカなこと言わないでください 彼女は近衛騎士隊の隊長 エリスです
この国でも一・二を争う 剣士ですよ！
まだ未熟な 身ですが… ありがたい お言葉です…殿下
その男が お探しに なっていた 男なのですね
かつて——

魔神たちを滅ぼした“名も無き英雄”の血を継ぐ者

…確認は不要ですエリス あなたももう確証を得ているのでしょう？

恐れながら我ら近衛は殿下と一体

殿下がご存知のことは我らも知っていなければなりません

なんか真面目な話してんなぁ ちょっと飲んできていい？

いいわけあるかっ！ シード・ネーキス！ 貴様を捕縛する！

逆らうならば斬る！

俺
悪いことなんて
何もしてないのに…
あなた…ツケの
踏み倒しで何件か
訴えられてますよ
まぁ
捕縛とか俺は知らんな
騎士さんたちの命令も
ツケも訴えも
最後の二つは
無視しては
いけません!
ええい 話が進みません!
殿下
ここは押し通らせて
もらいます!
シード・ネーキス!
逆らわないのが
利口だぞ!!
逆らうも何も俺って
はっきり言って
弱いからね
その辺の子供と
取っ組み合いしても
負ける自信がある!
何を偉そうに!
ならば大人しく
していろ!
あなたも待ちなさいエリス!
この人は魔神を滅ぼした方の
血を継ぐ者!
我が国の希望となる人
なのです?
そこは自信
持ってくれよ
姫様!
ガシッ
き 聞いてくださいエリス
あなたも知って
いるのでしょうが
五十二の魔神を
滅ぼしたのは
たった一人の男
世界を滅ぼしかけた
魔神たちを
一人の男が倒したのです

魔神は人を滅ぼすことにその存在意義があったと言われています
人への恋は魔神にとっての禁忌 それを犯した魔神たちは存在が滅び
ですが魔神たちはその男に恋をした
不思議なことに衣服へと姿を変えた
殿下 それはお伽噺です
ですが
魔衣は存在します
これは思った以上に…
ドゥン
って あれ？

おお…！
え？
おおおおお
おっぱいはほとんど半分見えちゃってるし
スカートも短く太ももも丸見えじゃないか!!
そんな具体的な解説はいりません!!
しかも

白い
パンツ
パッ…！
しっ 下着は
関係ないでしょう！
ガバッ
姫さん顔は
幼くて可愛いのに
身体は熟れきってるとか
どうなってんだよ
ガシッ
どうもなってません！
スカートから
手を放して‼
というか
な 何を捲ってるん
ですかっ⁉
きっ
貴様！
殿下になんという無礼をっ！
ええい！
殺せ 殺せーっ！

!?
おっ　おやめなさい
彼は
天姫に対抗できる
唯一の
人間なのです！
ぐぐぐ
ギ
キーンッ
関係ありません！
殿下　我々はこんな怪しげな
男に頼るべきではありません！
陛下には殿下を
諌めるのも我らの役目と
命じられています
私たちには
あとがないのです！
騎士であるあなたなら
マスディニアやエルフとの
戦力差は承知のはず！
それでも戦うのが
騎士の務めです
責任は私が持つ
男を殺せっ！
やっやめ

もういいぞ
みんな
舞台は
終わりだ
はい♡

ど　どどどど
どうなってるんですか!?
はぁ♡
落ち着け　お姫様　ただのハーレムだ
意味がわかりません！　いえ　これがまさか
外法!?
シード様

名も無き英雄は外法と呼ばれる
怪しげな術を使ったと聞きます
外法は恋愛感情など待たない魔神たちも
恋に堕としたとか…

堕とせる
~~~~~~~~ッ!!?
ドキューンッ
ビクッ

魔性幻惑(ドミネイション)
目で誘惑するなんて
ちょっと顔がいいだけの
男にだってできることさ
俺の目はもっと
特別だ
キュッ
キュッ

さすがに姫さんや
隊長さんみたいな
強い意志を持った
女の子は
目だけじゃ
堕とせないけどな
ギクッ
ギクッ
ギクッ
ギクッ
~~~~~~~~

こっ　このクズが人の部下でハーレムを作るな!!
いやハーレムはまだ未完成だな
みんなには悪いが隊長さん抜きじゃ物足りないからなぁ
だっ　誰が貴様のハーレムになどっ!!
カタ
殿下　見ての通りです！
こんな不埒な男に我が国を任せるわけにはっ!!
はぁ　思った以上の
クズっぷりです♡

で殿下…っ!?
はぁ♡
はぁ♡
ギュッ
狙いは大当たりだ!!
外法とは
美女 美少女たちを攻略するための技術のことだ
俺は女たちの姿を見るだけで攻略に何が必要なのか
どんな選択肢を選べばいいかわかってしまう
そしてこの国で最高の身分にあるアリーシャは
独特な男の好みをしていた

クズであればあるほど愛しくなる
もっと言えば興奮してしまう女の子なのだ
しかし一国の姫がこんなちょろくていいのかな
まぁいいやとりあえず隊長さんあんたもうちのハーレムにどうぞ
うーん そりゃ二十歳にもなって処女っていうのは恥ずかしいだろうが…
そんなこと言ってない！なんで私の年齢をっ
それに処女だと断定するなっ!!
なんでそうなる!? 流れで適当に自分のものにするな!!
いや でもあんたの部下が教えてくれたし
お お前たち そういうことを本人が知らないところでッ!!

あっ
大丈夫だ
処女だからって
恥じることはない
むしろ俺はうれしい！
国のためなら我が身を
顧みず 主にすら逆らう
誇り高い女騎士
…イケる
んっ
何がイケるっだ!!
お前は性欲が
剥き出しすぎる!!
いや 待て待て
それこそ性欲だと
判断するのは
気が早すぎるだろう？
ギュッ
これは愛
そう 愛なんだよ
俺は女の子たちに
愛を分け与えることを
生き甲斐にしてるんだ
女を侍らせておいて
説得力があるか!!
んっ
愛と性欲は
似て非なるものだ
ただ
見分けがつかない
くらいに似てる
クイッ
ぜんぜん上手いこと
言えてないぞ!!
性欲を正当化するな!!
ガタッ
はぁ 本当に
人間のクズ

鬼畜 最底辺の生き物ですね
はぁ♡
ゾクゾクゾク
エリス もういいでしょう あなたのおかげで この人の能力も 確認できました
でコ 殿下…
ですがもう一つだけ 確認しておきたい ことがあります
これが最も大事な ことです いいですか? シード殿?
ビクッ
ビクッ
いいけど 殿はいらない シードでいいよ
んっ
はぁ♡
でっ
ではシード 二人だけで
んっ
はーっ
お話し しましょう
ギュッ

SEX FANTASY

第2話
荒らされてますね…王都がこうなってしまうのも時間の問題ですが……
俺は火事場泥棒はしないぞ どうせ女子はいないからな
そういう問題ですかっ!?
使用人の可愛いメイドさんとか残ってればな～っ
できれば誰の手もついてなくて それでいてイヤラシイといいんだが…
堂々とクズな夢を語らないでくれませんか
もう俺がクズだって充分わかっただろ？いちいち怒るなよ
……
そうですね…クズのほうが私としてはありがたいです
あなたを利用するにも後ろめたく思わなくて済みますし

後ろめたいのか……
さっきから思ってたけどお姫様にしちゃ言葉遣いがあけすけだよなぁ
庶民出身の母の実家で育てられた時期もありますので
なるほど…お姫様らしくない行動もするわけだ
それで話っていうのは？
ぁ
言っとくけど近衛騎士たちは返さないからな
本気でハーレムを作る気ですか！王女直属の騎士は恋愛厳禁なんですけどっ!!
女騎士も物じゃないんだから可哀想だろ？
怪しい技を使ってモノにしておいてよく言いますね…
いいえ…私の話はそんなことではありません

あなたが本当に
〝名も無き英雄〟の
血を継ぐ者なのか
ま そこは俺が何を言っても意味ないだろ
自分が何者なのかなんてな
俺みたいな根無し草ならなおさら
そもそもシードはどうしてアティナに？
もうわかってるとは思うが
俺を突き動かすものは
性欲だ
愛はどこへ!?
俺にとっちゃ愛と性欲は同義なんだよ
とんでもないセリフを堂々と言いますね
そうか？じゃあ言い直そう
俺は…

常に愛を求めて大陸を彷徨っている
言い直しても手遅れ感がものすごいことになってますよ
…あなたの噂があちこちにあった理由はわかりました…
手当たり次第やってたと…クッ クズですねっ…
このお姫様の性癖も手遅れだな…
愛を求めてたらマスディニアの天姫の噂を聞いた世にも稀な美少女だとか
そりゃあぜひ会って愛を注ぎたくなる
それにマスディニアの隣にはエルフの森があるだろ？エルフは例外なく美形だっていうし
おおっ
マスディニアの天姫にエルフの美女たち…死ぬまでに一度は足を運んでおきたい
わたしの中で愛の定義が変わってきそうです…

ですが
あなたがいるのは
このアティナですよ
下品ですね…
天姫もエルフも
ここにはいません
あぁそれは
マスディニアの皇宮も
エルフの森も
警戒が厳しそうだから
……
そうでしょうね
で困っていたら
マスディニアで
聞いたんだ
アティナのお姫様も
天姫に劣らない
とんでもない
美少女だって！
はぁ…
そうですか…
敵国の人に
褒められても
うれしく
ありませんが
まぁ
ぶっちゃけ
小国のアティナの姫様なら
警戒も緩そうかなって
ついでに貞操も緩くて
それでいて処女だと
いいなぁと
最悪だ!!
最悪ですよ
この人!!

ただアティナに
入ってみれば
俺をつけ回す連中が
いたからな
この街に留まって
様子を見てたら
その姫様らしき子が
現れたもんだから
さすがの俺も
びっくりだよ
私も
驚かされました
探してた相手が
現れたんですから
まさか　そんな最悪な
理由で入国したとは
思いませんでしたが
俺が話せるのは
このくらいだよ
ポツ
ポツ

俺はキミに会うためだけにこのアティナに来た
それだけのことだ…
っと 雨が降ってきたな
それでしたら
姫さ…？
ツカ
ツカ
私も話を終わらせましょう
ぐっ

…っ!
っ!
くうっ やって
やってしまいました!!
なんてことっ
いや…俺の台詞
じゃないか?

でっ ですが！
王家の人間の身体は
頭の天辺から足の爪先まで
国のために
民のためにあります！
グイッ
国を救うためなら
いつでも身を捧げる
覚悟はありました！
じゃあ
二度目も
もらっておこうか
～～～っ!!
んんっ
んっ
んんっ
んむっ
ピチャ
ピチャ
ピチャ
ちゅむっ

いっ いきなり何をするんですかっ

いや いきなりなのはアリーシャも同じじゃないか

くっ 唇を奪った上に呼び捨て！ ここまで無礼な鬼畜だったのですか！

いっ いいえ！ 別に口づけ程度かまいません！ それより 私には確認すべきことがあります！

キミ やっぱ情緒不安定だよな

名も無き英雄は
魔神たちを恋に堕とし
支配し従属させ
身も心も蹂躙したと
伝わっています
あなたが魔衣姫を堕とす
だけでは意味がありません
彼女たちの国を打ち破ら
なければならないのです！

……悪いが
俺にはどの国とも
戦う理由はないぞ
あなたが天姫とエルフの
魔衣姫を狙うなら
我々アティナが
援護します
あなたに戦えなんて
言いません
ですが
何っ⁉

悪い話では
ないはずです
そ それで
まだ続きが
あります
わ 私も
意味もなく口づけした
わけではありませんっ
俺は意味もなく
できるけど…
それで？
どういう意味が
あるんだ？
あれ…
まだあるの？
あなたは
そうでしょうね‼

あなたが
魔衣姫を
打ち破れるのか
ドキ
ドキ
確認して
みなければ
なりません
…要するに？
どういうことと？
名も無き英雄がしたように
魔衣姫であるわたしを
屈服させてみてほしいのです
屈服？
それはつまり？
ぐっ…
わ　わかってて
訊いてませんか⁉
よ　要するに
あなたの手で
私をっ
こんなに
大胆に出て
くるとは…
つまり
好きにしちゃって
いいわけ？
縦にしたり横にしたり
何をですか⁉
い　いえっ

その通りです
縦だろうと横だろうと
好きにしていただいて
かまいません！
魔神将たちが
名も無き英雄に
恋をしたように
魔衣姫も…
わたしも
求める相手は
あなただと
わかるんです
だから
好きにして…いいえ
好きにしてほしいんです
姫が魔衣に
動かされている
っていうなら
それでもいい
でも この姫には
〝名も無き英雄の子孫〟
じゃなく〝俺〟を
求めてほしい
そうか…
どうしたら
姫の気持ちを
俺に向けられるか
ま 方法は
一つだな

こうなるように段取りを踏んできたが
本当にお姫様を抱けるってなるとっ
思った以上に可愛く色っぽい
ななんですか焦らすつもりですか？
じゃあ失礼して
きゃ
ちょっ ちょっといきなり！
屈服させてほしいって言うからそうしたまでだろう？
大丈夫大丈夫
何が大丈夫なんですか!?

一国の姫をよく迷いなく押し倒せますね!?
ハァッ
ハァッ
ん?やっぱ嫌なのか?力ずくってのは好みじゃないんだけど
勢いに任せないと俺らしくもなくためらってしまいそうだ…
ハァッ
ハァッ
それでいてやりたくてたまらないんだよな
なんですか突然!?
いや気にしなくていいそれで嫌なのか?
ドキ
ドキ
ドキ
そ そんなことは…
俺も可愛い女の子のためなら愛を惜しむつもりはない!
ガッ
絶対 愛じゃないですよね!

はあっ
はあっ
うん やっぱ可愛いな
ドキッ
これだけの美少女ははじめて見るかも
ドキッ
アリーシャは文句なしの合格！
ごっ 合格…!! な 何様なのですかあなたっ
ん むむッ！
むちゅ

んっ
んんっ…
んんっ
し 舌がっ
んっ
んっ
ぷはっ
はーっ
はーっ
あ あの…
シード
あなたが強引なのは
嫌になるほど完全に
わかってましたが…
さっ
でっ ですが
その…少しは優しく
お願いできれば…
わっ わたしは
は はじめてです
ので…
ずいぶん俺に
不満があるのも
わかったぞ
そりゃ
さっきキスが
はじめてとか
言ってたし
キスは
したことないのに
非処女とか言われたら
びっくりだよ
なっ
ぶっ
無礼すぎませんか
あなたはっ!?
まぁこれからある意味
とんでもない無礼を
働くわけだし…なっ
ザーシッ
ふぁんっ!?

さすが姫様
暴力的なおっぱいだ…
モミ
暴力的!? あなたさっきから言ってることがちょこちょこおかしっ
ああっ
ボロンッ

あああああ…
あっ
あっさり魔衣を脱がすなんて…普通は触れもしないはずなのにっ
誰であろうとそこに美少女の服があれば脱がす！
それもまた外法の力だ！
ムギュ
あっんっ
ちょっと
あっ
んっ
そんなにっああっ
ムギュ
本当にすげーおっぱいだなたぶん天姫にも負けてないぞ
そっそんなところで勝ってもうれしくありません
あっ
やっもうっむ胸はいいでしょう!?
ムギュ
んっ

うーむ
もうちょっと味見
しておかないと
あ〜
味見って
なんですか⁉
ぢゅるる
ひぁ⁉
そっ そんな
ところっ あんっ
吸っちゃ
だめですっ‼
ぢゅるっ
モミ
ちゅるっ
やめっ
あっ あん
ダメですっ
あっ
ぢゅるる
るっ
あっ
そんなに
吸ったらっ
ビクッ
ビクッ
んっ
んんっ

ビクッ
ああああああっ!!
ビクッ
あっ ああああっ
なんですかっ
これ
こんなの
はじめて…
でかいだけじゃ
なくて えらく感じ
やすいんだなぁ
私はあなたが魔衣姫を
屈服させられるか
確認してるだけ…です!
しゃべってたほうが
気が紛れるぞ
緊張してるだろ?
そ その台詞は
必要ですか!?
あっ
んっ
そ それは…

じゃあ
もうちょっと
ほぐしておこうか
きゃあっ!?
まっ 待って
そ それは
スルッ
ちょっ ちょっと
いくらなんでも
そんなところにっ
いや 待てないって
俺はキミのパンツを
脱がすために
この国に来たんだぞ
最低です!
わかってましたが
本気で最低です!
何を今さら
ほら ちょっと
脚を上げて

〜〜ーっ!!
かっ
ぷ
うわぁ 姫様のここ もうこんなに なっちゃってるぞ
だっ だから説明は しないでくださいっ!
わっ 私だって こんな風になったのは はじめてでっ
そうか おっぱいを 舐め回されたのが そんなによかった のかー
よ よくなんて… あっ こらっ そんなところっ
な 舐めちゃ あっ あんっ
あっ
あんっ
んっ
ちゅぱっ

んっ
んんっ あっ んっ あっ
ピチャ ピチャ
ヂュルッ ヂュル
も もうダメ こんなのわたし
んっ
んっ
甘まっ 甘まっ
あっ
それじゃあ そろそろ姫君の処女をいただくか
だっ だからいちいち言葉でっ 私をいじめるのが目的なんですか!?
まぁ いじめられてよろこぶ子にはそうするが?
ふーっ
よ よろこんでなんか?
ひゃあっ
そ… そんなのが わっ 私の中に…?
大丈夫 大丈夫 これだけトロトロに濡れてれば なんとかなるだろ

ナデ ナデ
くっ あっ
あああっ 痛っ
ビクッ
グッ
さすがに俺も お姫様の処女を もらったのは はじめてだな
だっ だから処女が どうとかいちいち
でもお姫様なのに いいのか？ 輿入れとか
はぁっ
いっ 今になって 言いますかっ？
あなたの力を 確かめなければ この国にも私にも 未来がありませんから
ですから… 続きをどうぞ 私はまだ 屈服してませんよ
はぁっ
じゃあ 遠慮なく

あん
ブプッ
あっやんっ
あ入ってきてるっ
あっわたしの
中にっ
ズプッ
ズプッ
グデッ
あっふああっ
なっなに?
やんっ
あっ
こんなくっつくの
はっはずかしいっ
ぎゅ
ああっはっ
あっあああ!!
はむっ
シード
わたしっあんっ
ちゅっ
こっ声漏れちゃう
エリスたちに
聞こえちゃいますっ
ちゅっ

パチュ
んっ
んんっ
んっ
パチュ
パチュ
シード
わたしっ あっ もうっ もうっ ダメですっ
あぁっ 俺もっ
ズブッ
ズブッ
あっ あぁあっ
ズブッ ズブッ
あっ
ズブぉぉっ
ズブぉぉぉっ

あ゛あ゛あ゛あ゛あ゛
ビク…
ビク…
ビク…
ビク…
ドプッ

んじゃ 仕上げも頼もうか
はぁっ
はぁっ
ピクッ
ビクッ
ふぇ？
仕上げって……？
ピトッ
なっなんですか？えっとこれ…
綺麗にするまでが性交だよ
剣も人を斬ったら血をぬぐってから鞘に収めるだろ
……
……わかりました
こうでしょうか
ちゅぱっ
ちゅぱっ
んっんおっ
んっんっ
えっ ちょっ なっなんですか!?
ガッ
悪い 足りないんだ お姫様の身体がいやらしすぎるせいだけど

な 何を言ってますか
私はいやらしく
なんかっ
まっ
待ってくださいっ
二回もやるんですか!?
回数で数えても
しょうがないぞ
三日三晩は
続けるから
三日三晩!?
そっ そんなの
いくらなんでも
ああっんっ
あっ
わっ わたし
そんなに暇じゃないんですけど!
謁見や書類の決裁
会議なんかも
あるんですけどっ
会議くらいなら
性交しながらでも
可能じゃないか？
頭が
おかしくなったと
思われますっ
っ!!

ーです
リーシャです
はぁっ♡
はぁっ♡
パンッ
パンッ
んっ？何か言ったか？
アリーシャは王女としての名で本当の名はリーシャと言いますっ
…そうか
よしリーシャ俺がキミの全部をもらう
その代わり俺が全部を守ろう！
せっ性交しながら言われてもっうれしくないです！
そんじゃ三日後にまた言うよ
パチュッ
パチュン
三日三晩は本気ですかコ!?
パチュンッ
パチュッ
パチュッ
はぁっ
はぁっ
はぁっ
んっ
んっ

エルフ部族連合
エルフは人間と比べ数倍の寿命があるため
議題の結論を出すにも長い時間を費やすことが多い
しかし
今はエルフたちにも慎重さより迅速さが必要になっている
マスディニア帝国はすでに森の一部を侵しつつある
人間などとは関わりたくないが
そうも言ってられなくなってきた
愚かな人間が我らエルフの森に手を出すなど…
ただ人間は数だけは多い

あの数でこられては我々も苦戦を免れん
まずは森を返してもらわねば
それも迅速に
数で劣っている以上消耗を避け効率的に立ち回るべきだ
出てもらおう
姫に

SEX
FANTASY

第3話

アティナ王国
首都
このままでは
物資が――
私の兵ならば――
アティナ王国の
会議室では
毎日のように政治家や
軍人が激しく議論を
戦わせている
結論はまったく
出ないが
これだから
お偉いさん
たちはなぁ
ニコ
ニコ
はー こんな会議
さっさと終わらせて
リーシャと性交したい
今夜も
三・四発は
イキたい
!
ガターンッ

もう
けっこうです！
エルフの脅威は
目前に迫っています！
彼らは
アティナを滅ぼし
兵を吸収し
民さえも戦いに
投入するでしょう！
で ですが殿下
我々には
兵も武器も食料も
まるで足りません
もしエルフを
止められても
マスディニアと
戦う余力が…
兵站不足も
マスディニアの侵攻も
わかっていますが
今ここで滅ぼされては
意味がありません
このアリーシャが
陛下に代わり
すべての命令を
下します！
決して
あきらめず
最後まで手を尽くし
戦うのです！

ビシッ
！
国王の代理
まだ十代の少女
それでも
アリーシャ姫は
指導者として確かな
地位を築いている
さすがは
俺のリーシャ
だからこそ
俺も付き合おう
って思えるんだ

はぁ
はぁっ
はぁっ
本当に今日は大変でした…
会議に作戦の立案陛下の代わりに指示も出さなくてはなりませんでしたし
その上 あなたにこんなにしつこく責められては身体がもちません
その割には自分から腰を振ってやる気満々だっただろ
それはあなたが何度もするから…あぁっ もういいです！
ぷいっ

夜になって後宮に
戻ってきて
さっそく性交(セックス)
予定よりも多く
口で一発
膣内(ナカ)に五発ほど
出させてもらった
それにしても
ん？
もう二・三回
やっとくか？
アティナの当面の
敵はエルフです
違います！
そうではなく
エルフの話です
バッ
ガバッ

彼らは少数種族
めったなことでは子供を作らないと聞いています
じゃあ何が楽しみで生きてるんだ…？
真剣な顔で悩まないでください！あなたみたいな人は少数派ですよ!!
衝撃の事実だな…でもそうなると
はぁ
はい エルフは恋も性交(セックス)もしない種族
あなたの外法(げほう)がまったく通じない可能性もありますよ

…そうか
俺の次なる試練は
このチョロいお姫様のように簡単にはいかないようだ
誰がチョロいお姫様ですか!?
悪かったよ
リーシャのチョロさは俺限定だもんな
そっ
そんなことは…
ありませんよ
リーシャ
ぐいっ
あんっ
んっ
むにっ
むにっ

しゃ
ぴちゃ
何度抱いても
飽きないいな
ぴちゃ
シード
いつまでも
触っていないで
もう……
はっ
はぁっ
ください

ああ
んっ きたっ
ズプッ
シードのっ
はげしく するぞ
あっんあんあんっ
ぱんっ
ぱんっ
あっあっ
コンコン
ガチャ
失礼します 殿下 エルフに 動きがっ
!?
しっ 失礼 しました
邪魔するなよ 交ざりたいのか？
そっ そんなわけ あるかっ!!
緊急事態だ！ 殿下にお伝え することが！
あああああ

マスディニア帝国
エルフ部族連合
アティナ
エルフが侵入してきたのは五日前のことなんですね？
はい斥候部隊でしたので即座に撤退していますが
エルフの侵入かー美少女を捕虜にしたりはしてないのか？
はいはいお姫様は冷たいな
あなたは黙っていてください！

ふーん…
いい景色だな

この山を越えると
妖精の森…
エルフの住む森か
意外ですねシード
あなたにも
景色を愛でる感性が
あったんですか
景色というか
目と鼻の先に
美少女だらけの
楽園があるんだな…
やっぱり
そういうこと
ですか!!

馬鹿言わないでください
その楽園は
敵の本拠地ですよ!
近づいたら即座に
射殺されますよ!!
こいつの場合
そのほうがいい
気はしますけどね
私は…
隊長さんは
もうちょっと姫君を
見習ってほしいな

アリーシャくらいチョロいほうが女の子は可愛いぞ？
だからチョロいって言わないでください！身持ちの堅い姫なんですわたしは！
というか今さらだけど王都を空けていいのか？
それは確かに心配ですが
目下の脅威はエルフです
この国境で防ぎきれなかったら王都陥落も時間の問題なのですから
それはまたえらく切実だなぁ
わかっていたことだがアティナの命運はもはや尽きようとしている
エルフの森
トリニア湖
砦
一つの間違いで滅亡へとまっしぐらだ

それに ここ半年ほど
天姫は大人しいものです
理由は不明ですが
マスディニアほどの
大国でも
軍を年中動かせ
ないのでしょう
そりゃそうだ
軍隊ってやつは
消費するだけの
集団だからなぁ
天姫ってアリーシャと
同じ歳なんだろう?
じっくり時間をかけて
覇業を進められる
特にアティナは
逆襲してくる
可能性が
ないからな
…意外とわかって
ますね シード
要するにアティナは
いつでも滅ぼせるから
後回しに
されているだけ…
天姫の判断で
事態が急変する
可能性も
充分にある
どう転んでも
アティナの状況は
絶望的だ
マスディニア帝国

エルフの魔衣姫が国境を越えたのは初めてのことですよ！

はじめてかー エルフの魔衣姫さんは処女なのかなぁ

やっぱりあなたは黙っていてください！

エルフの魔衣姫は〝ラクシアル〟という名だそうです

五日前に白昼堂々と国境を越えてきました

国境の向こうの森でエルフたちが動いていたのは 我が軍も察知していました
国境を越えてきた一人のエルフと遭遇し
ですので二百騎の強行偵察中隊を国境沿いに配置したのですが
瞬く間に壊滅させられました
僅かな生き残りの証言によると
そのエルフは自ら魔衣姫だと名乗ったそうです
魔衣姫とはいえ精鋭の偵察部隊が一瞬で…
なんてこと!!
二百騎の兵たちはほぼ全員が矢で急所を射抜かれていました
その魔衣姫さんは二百本も矢を持ち歩いてるのか?

一本の矢で数人をまとめて貫くほどの強弓だったらしい
その上で急所を外さないのだ常軌を逸している
そりゃあ神業だなぁ俺もエルフの美少女貫通させたい!
話が逸れてるぞ下郎!我が軍の兵が死んでいるのだぞ!!
でも騎士なんだろ?戦って死ぬのも覚悟の上だろうし
エルフの魔衣姫だって命懸けで戦ってるんだろうからな
イラッ
軍人でもないくせに知ったような口を…
俺も命懸けで愛を伝えてる!
軍人には共感するところが多々ある!
エリスの部下さんたちも すっかり懐いてくれたしな!
貴様は怪しげな術を使ったんだろうがっ!!

やはり貴様とは決着を——
ギリッ
エリス！そんなことよりエルフへの対処です！
し失礼しました殿下……
二百騎を一人で壊滅させる魔衣姫が国境を越えているんです
またいつ侵入してくるかわかりません今のうちになんとか対策を
押し寄せてきたらアティナが滅ぶんです！
エルフの美少女たちが押し寄せてくるとかご褒美すぎる
だいたいエルフにはもちろん男性もいる攻め込んでくるのは女だけじゃないぞ
むっ

男はいらん
俺以外の男なんて
全員死ねばいいのに

お前
ちょくちょく
幼稚なことを
言うのな

まぁいいや
男は無視すりゃいい
エルフっていうのは
全員美形なんだよな

ということは
美少女確定として
魔衣姫は
どんな子なのかな？

エルフの魔衣姫の
正体は 我が国でも
つかめていません

エルフは長寿で
四百年ほど生きると
いわれていますが…

百歳でも四百歳でも
見た目は十代から
三十代くらいの若さを
保っているそうですよ

ふーん まぁ実年齢がいくつだろうと見た目が若くて可愛けりゃいいし
無駄に前向きですね
正体がつかめないってことは 見た目の特徴なんかもわからないのか？
偵察隊を襲ったときはどこから射ってきたかわからなかったらしい
目のいい兵士が影のようなものを見ただけだとか…
影ねぇ…
となると残る最大の問題は…
エルフの魔衣姫が
処女なのかどうか

エルフはめったに繁殖しないんですから可能性は高いんじゃないですか
おおっ 希望が出てきたなっ
ええ そもそも人と違って出産以外の目的でのその…
性交は行わないそうですので
俄然やる気が出てきた
よしっ そのエルフの魔衣姫さんをちょっくら拝んでくる!
買い物に行くんじゃないんですよ! 気楽に言わないでください!
いえ殿下 どのみち森の様子は見てこなければなりません
さすがエリス! 話がわかる!
お前の命などどうでもいいだけださっさと死んでこい!

いや…アリーシャ姫を泣かせることはできない
急に真顔で言うな！
お前が死んだごときで殿下が泣くか!!
……
キッ
殿下…
あっいいいえ
我が国を救うにはシードの力が必要だというだけで…
それ以上の意味はありませんよ!?
…お姫様にとって俺はただの駒というわけでもないらしい
なんでもないですよ
冗談じゃなく死ぬわけにはいかなくなってきたな

こっそり砦を抜け出してきたが静かすぎるな
危険な動物もいるらしいけど……
こりゃヤバい気配がビリビリ来るな…

妖精の森か…
さてどうするか
ふーむ。
ここはいつもの俺の手口でいくかね
どっかのお姫様みたいに向こうから近づいてきてくれたら楽なんだけどなぁ
近づくだけならそんなに難しくないよ
そうは言ってもエルフだぞ?
って誰だ!?

リンだよ
さっ
はじめまして
シード・ネーキス様
姫様の切り札
…ということに
なっている
性欲の権化さん
だよね
初対面で
言いたいことを
言ってくれるな…
否定はできないが

小動物っぽくて
可愛いけど
いちおう
近衛の一人
まだ入った
ばっかり
だけど…
あなた様の抹っさ…
監視計画には
参加してなかったの
何者
なんだ？
今 抹殺って
言いかけ
なかったか？
なんで近衛の子が
こんなところに
いるんだ？
姫様に前々から
言われてたの
あなた様から
目を離すなって
どうせエルフの
美少女目当てで
ちょろちょろ動く
だろうからって
さすが
アリーシャ
もう俺のことを
よくご存じの
ようで
まぁ 近衛は
クビになったん
だけどね…
クビ!?
なんでだ？
はぁ 遠く東から
アティナに流れ着いて
やっと定職に
ありつけたのに…
どう思う？
どうと
言われてもな…
近衛じゃないなら
なんなんだ？
はーっ

リンはすでに
あなた様直属の
部下にされてるの

そもそもあなた様の
身分はデタラメなのに
その直属って
なんなの？ 奴隷？

直属？ 俺の？
それは…奴隷だなっ‼

アリーシャみたいに素直になりきれなかったり
エリスみたいに俺を割と本気で殺そうとしてくるくらいの女の子が好みだ

気にするな
上司なんて
だいたい最悪だ
悪いけど
〝忍び〟は過去を
話さないんだ
それにお前も
過去に何かあったから
こんな滅びかけの国に
来たんじゃないのか？
忍び？
闇に潜み
闇に蠢く者
誰にも見られる
ことなく
任務のためなら
命を捨てることも
躊躇わない者…だよ
思い切り
俺に見られてる
じゃないか
そりゃ仲間にはね
でも王宮では
気づかなかった
でしょ？
……
まったく
気づかなかった
恐ろしいな

エリスがその気になれば本当に殺されていたかも…
だら だら
森はエルフの縄張りだけどリンがいれば大丈夫
エルフの目が届かないところを縫うようにしてどこまでも突き進めるよぉ
そりゃ便利だなぁ
外法は女の子と正面から相対さないと役に立たない
こっそり近づくのは大得意だがエルフを相手にどこまで通じるかは怪しいものだ
つまりお前がいればエルフの魔衣姫にも近づけるってわけだな
その通りリンが可愛いエルフのところへ案内してあげちゃうよ
そのあとはあなたの外法で好きにしちゃって
……
ん？どうした？

なんだか
娼館の客引きにでもなった気分だよ…
どんより…
…まぁ
やってることは同じようなもんだな
落ち込まれても困るが
リンの力を借りればどうにかなるかもな
それに
着物の前から半分くらい見えてるおっぱいに
裾からすらりと伸びた白い太もも
あらわになってるうなじもなかなか
ぁ　うん…っ
リン？
なんだ今の？
？
…気にしないで
それより森に入ろう
潜入するなら夜のうちがいい
ぁぁぁ
そうだな

どうせすぐに魔衣姫とご対面とはいかないだろうし
本命とお会いする前に
ちょいと一つやってみたいことができちゃったな

S E X
F A N T A S Y

こっちだよ
もっと身を低くして

大丈夫
へなちょこなあなた様でも進める道を選んでいくから

この忍びを自称する女の子は地味に口が悪いな

悪口を言われるのは慣れてるが

俺たちはすでにエルフの森に入っている

もうここから先はどんな言い訳もできない

どのみち 噂に聞くエルフは人間の言い訳なんて聞いてくれそうにないが

第4話

えっと…
なんだっけ？
エルフの魔法
だっけ？
ガサ
あまり
戦闘向きじゃない
ってことか？
ガサ
ガサ
燃やしたり
吹っ飛ばしたり
するような魔法は
使わないみたいだよ
森では使わない
だけだと思う
森を破壊するのは
エルフが最も嫌う
ことだしね

大丈夫
リンに任せといて
アティナは情報収集を
得意とする国
エルフの国の地図も
国境周辺なら
ちゃんと頭に
入ってるから
そりゃー
頼もしい
実際 アテが
なかったから
助かる
なんとか
エルフの女の子を
一人見つけて
〝魔性幻惑〟で陥落
その子を足がかりに
魔衣姫に近づいていく
つもりだったが
リンがいれば
もっと簡単にいける
かもしれない
ただ
その前に

リーシャの
高級な下着とは
違うが
この素朴さも
なかなか
丸みを帯びた
綺麗な形で
ぷるぷると
柔らかそうだ
あっ
?

ビクッ
あうっ
あうっ
ビクッ
ビクッ
…心なしか
自分から尻を
突き出して
こちらに
見せつけてる
ような…
リン 声を
出してると
見つかるぞ？
わ わかってる
あっ あの丘に
登るよ

森を見下ろして
様子を確認するから
シード様は
一休みしてて
そりゃ
ありがたい
じゃ　遠慮なく
旅から旅の生活
だったんで
体力はあるほうだが
無駄に使う
こともないか
エルフの
巡回隊は
見当たらないね
国境周辺はこまめに
見回ってる
みたいだけど
今夜はいないのかも
ふーん　エルフって
真面目な奴らかと
思ってたけど
そうでもないのかな
のそ…

ふーむ…
忍びとかいう
物騒な職業の
わりには
ずいぶん
女の子らしい
まぁ
とりあえず
そー
ピラッ
!?
後ろから
見るのもよかったが
前から見るのも
また乙なものだ
純白なのが
清楚な感じで
大変によい

でもパンツはさっきも拝んだから
となるとやはり…
ふーむふむふむ
うおぉ いい形だし乳首は驚くほど綺麗な緋色だ！
めちゃくちゃに揉みしだいて吸いまくりたい！
でもなぁ…
あ あの…？

ああ 気にせず
偵察を
続けてくれよ
きっ
気になるよ！
脱がされてるし
思いっきり視姦されちゃってるし！
あぅ
きゅぅ
忍びなんだろ？
これくらいで
心を乱して
どうするんだ
ついでだから
こっちも
見ておくか
その通りだけど
ってまだ見てる！
ビクッ
ビクッ

グイィッ

へぇ 綺麗なもんだな もしかして処女なのか？
どっ どこを見てっ 会ったばかりの女の子にそこまでする!?
グイ
グイ

普通ならさすがの俺もしないけど
ここに思いっきりモノをぶち込みたいが…
キュル

話には
聞いてたけど
この人は本当に
最悪だ…！
誰にも見られたこと
なかったのに！
ビクッ
ビクッ
やっぱり処女かー
というか近衛は
処女じゃないと
なれないのか？
そりゃ悪い虫がついてたら
姫様の側にはいられないし…
ってどこまで遠慮なく
見てるの!?
じろ
ああっ
はぁっはぁっ
ビクッ
そうは
言うけどな
リン
ビクッ

外法を使うまでもないなリン
見られてよろこんでるんだろ?
はぁっ
はぁっ
そんなはっきり言わないでっ!
ビクッ
そ そうだよその通りだよ!
リンは見られると興奮しちゃうイケない女の子なんだよ!
…忍びは誰にも見られずに…みたいなこと言ってなかったか?
そこが最大の問題なんだよ…
じわぁ
見られて興奮する性癖なのに!
人に見られちゃいけない忍びとかやってられないよ…!
それは難儀なことで…

でも忍びの里に生まれたからには誰にも見られずに生きていかなくちゃいけない
そんなのヤダから里を飛び出したんだけど…
じー
でもリンは忍びの技しか取り柄がないし…結局それを活かして仕事をするしかなかったんだよ
ある意味とんでもない過去だな
すいぶんと落ち込んでるがどうしたものやら
ぐずっ
なぁ リンそれじゃあちょっと抱かせてもらっていいか？
急になんなの!?
うん お前が見られてよろこぶ変態だっていうのはよくわかった
わかられちゃった!?
でも俺は見るだけじゃ満足できない
深い業の持ち主なんだよ

業っていうか あなた様が 性欲の権化って だけじゃないかな
だから 取引といこう
今後も俺が お前の全身を 舐め回すように 見てやる
その代わりに 抱かせて ほしい！
それ あなた様が 一方的に 得してない!?

リンも 見られて 興奮できるし いいじゃないか
〜〜——っ

でっでも　いくら上司って言っても今日会ったばかりだし！
リン　そこまで軽い女じゃないから！
そろそろその漫才を終わりにしてはどうだ道化ども
俺は軽い男だ
そうだろうね！
がばっ
うるさいよ今　大事な話をって
きゃあああああっ
あれ？いつの間に
動くな
動けば全身に穴が空く

どどどど
どうしようシード様
めちゃやばい！
まぁ慌ててもしょうがないからもうちょっとおっぱいを見――
この状況でまだ胸が気になるの!?

エルフの胸も気になるけどすぐには見せてもらえそうにないからなぁ
だから漫才をやめろと言ってるだろう！
こっこの男は…！頭おかしいよ!?
…シード様この変わった服装…たぶん姫兵隊だよ
なんだそりゃ？
魔衣姫の力の一部を分け与えられた…
つまり魔神の力を持った兵士たちってことだよ
へぇ魔衣姫ってそんなこともできるのか
といっても魔衣姫ほどじゃないってことだろ？
それならまだなんとか

黙れと言ってるのがわからないのか？

これがエルフの皆…
しっかし目隠しもなしで連れてこられるとはなぁ
こりゃ生かして帰す気がないってことかな？
リンを絶望に叩き落としてくれてありがとう
ほら ここだおとなしくしていろ
キィッ
バタン
ガチャン…
ま…意外と待遇は悪くないかな
あの花は灯り代わりか
さて忍びのリンさんこういう場合はどうす……何してるんだ？

シード様が
どんなにアレだろうと
任務は失敗してしまった
シード様が馬鹿なことを
言ったせいとはいえ
さっ
これは完全に
リンの責任だよ
ぜんぜん自分の
責任だと思って
なくないか？
いいえ 思ってる！
な なんなら…
さっきシード様が
言ってたこと
やってもいいよ！
どんな
ド変態行為でも
受け止める所存！
んーでも そういう
取り引きでってのは
好きじゃないなぁ
さっき取り引きとか
言ってたくせに…
こういうのは
ダメなの？
愛の形は
複雑なんだよ

捕まったのは
問題ないだろ
俺たちの目的地は
たぶんここだぞ
うーん…
それもそうか？
姫兵隊が
いるってことは
魔衣姫もいるよね
でも姫兵隊は
魔衣姫一人につき
五十人くらいは
いるらしいよ
魔神の力を持った
エルフが五十人なんて
アティナ軍なら
千人に匹敵するよ
あぁ 人数は
そんなもんなのか
やばいな
それは……
五十人の
エルフとなると
全員抱くには
さすがに何日
かかるかなぁ
一人三発
として…
恐るべき
計算をしてる！
てか それどころじゃ
ないでしょ！

状況わかってる!?
リンたち捕虜になっちゃってるんだよ!
このあと一人ずつ連れ出されて拷問 自白 用済みになって処刑なんだよ!?
でもなぁ魔衣姫は一週間は抱きたいから十五日は欲しいか…
話を聞けやこらぁ!!
リンもだいぶ口調が砕けてきたな
だいだい大変なのはシード様だよ!
はーっ
リンは拷問に耐える訓練も受けているけどあなた様はすぐに全部白状しちゃうでしょ!
そしたら即座に首をバッサリだよ!!
俺はエルフに有益な情報を知らないつまり拷問されないってことじゃないか?

得られる情報がなかったら殺されるだけでしょ…エルフは人間なんて大嫌いなんだから
待て待て人間が大好きで抱かれたい美少女エルフもいるかもだろ？
欲望だけの妄言をやめろ!!
ああ処刑確定だろうなあああ……
でもまぁ…そんなに心配することもないのに
？
外法の奥義
〝真眼〟

リーシャを
攻略したときにも使った
お目当ての相手に
近づくための
〝ルート〟が
可視化される力
発動させると
視界に数字が
浮かび上がる
その中でも
大きく表示される数値が
目標とする相手の
攻略ルートの進行度で
今はエルフの魔衣姫の
攻略ルートだ 数値は
少しずつ減っている
つまり俺が
進んでいるルートは
間違っていない
ということだ
思えばリンが
登場してから
進行度は確実に
減り始めた
ポクこ
だからこそ
素直にリンの案内に
ついて行った

？
ちなみに リンの数値は21 これが10前後になると ほぼ堕ちた状態 0になると攻略完了だ
あの シード様？
たぶん今 リンたちの処遇を どうするか…というか 拷問かさっさと処刑か 話し合ってる ところだよ？
ぼーっとしてる 場合じゃ ないんだよ？
お前は 本当に心配性だな 変態なのに
変態は別にいいでしょ！ 仕事に支障は ないんだから！
いや あっただろ
リンの心配も 理解はできるが 気にしても しょうがない
一応 打てる手は 打ってあるし
それは ともかく…
…リン

あれはなんだと思う？
んー？何と言われても穴としか……
……
リンが見てもただの穴か…
でもあの穴に視線を向けると数値が少し下がるんだよな
攻略を進めるための取っ掛かりがあるのかもしれん
とはいえどうしたもんかな
まぁ好きなだけ眺めていればいいよどうせほかにできることもないし…

うーん あの穴…あれをどうしたら魔衣姫の攻略に繋がるんだ…？

グイッ

ポロンッ

って何してるの!?

うーむ やはりこれはいいものだ

ぷくっ

見てるだけでいやらしく尖ってきてる

本当に感じやすい身体だな触ってないのにここまで反応されるのは初めてだ

ふー

解説いらない！リン 言葉攻めでよろこぶ趣味はないんだけど！

じゃあ もうちょと舐め回すように見せてもらうか

!?

このまま吸いまくってやりたいが…
リンの場合視姦するのが前戯になるからな
…まあでもキスくらいはいいか
!?

んんーっ
ちゅぽっ
んっんむむっ
ぷはっ
んー柔らかくてなかなかに気持ちいい
ぷるんっ
ふっふわわわわ！なっ何するの!?リンは触られても興奮しない…
はあっはあっ
キスだってダメだよ！
……
進行度が上昇した
84
リンの攻略を進めることがエルフの魔衣姫の攻略に繋がっていくのか？
88

ビンッ
まぁ興奮してきちゃったから一回抱いとくか
その一回がリンにとって大事なんだけど!!
そう言っても興奮しているようにしか見えないよな
興奮すれば当然最後の一線を越えたくなるだろうし…
あれ…数値が戻った
89
まぁいいやとりあえずやろう
数値?なんのことなの?
とりあえず!?やっぱりやるの?

このまま
リンを抱くと
魔衣姫の攻略が
難しくなるかも
だけど…
よくわからないけど
それならやっちゃ
だめじゃないの？
ぎゃーっ
でも　ほら
ギュッ
こんなに
ぐしょぐしょに
なってるんだから
これで抱かないのは
失礼だろ
グイ
グイ
グイ
しっ　失礼!?
どういう考え方
してるのあなた様は！
まっ　また見られた…
誰にも見せたこと
なかったのに！
しかも
こんな恥ずかしい
状態になっちゃっ
てるところを！
いっ
カあっ

処女なのに見られただけでここまで準備万全になってしまうとは

世の中には本当にいろんな女の子がいるな

たとえ魔衣姫の攻略が難しくなったとしてもリンを抱く！

それでこそシード・ネーキスの生き様ってもんだろ

リンが知るかー!!

こんなところで本当にやられちゃうの？

あうぅ

んっ

そりゃ処女のまま死ぬよりはマシかもしれないけど…!!

まさか…
シ シード様
今 あのちっこい
穴から矢が
うおおっ!?
なっ 何!?
どうなってるの!?
矢で天井を
ぶち破るとは…
どんな神業だよ…
!?

だっ 黙って見ていればとんでもないことを始めてくれたな!
す 少しくらいなら許してやろうと思っていたが…頭がおかしいのか!!

お前は……魔衣――
そうだ 我こそはエルフの魔衣姫ラクシアル・アルクス！
名も無き英雄の血を継ぐ者と聞いてどんな男かと思えば!!
……どうでもいいけどラクシアル
いきなり呼び捨てかこの無礼者!!
パンツ見えてるぞ
――TO BE CONTINUED.

お手にとっていただきありがとうございます
漫画担当のmacoです
無事に一巻が発売でき安心しました
次巻もエッチく楽しく漫画を描いていこうと
思います

原作　鏡遊先生
イラスト、キャラデザ　しおこんぶ先生
担当様
次巻もよろしくお願いします

maco

『セックス・ファンタジー』著者あとがき

おまけ

んっ
シード様っ
こんなところでっ
パタン…
あっ
んんっ
そんなこと言って
準備できてる
だろ?
俺のも準備
してくれよ
はい…
んっ♡
シード
!?

ガチャッ
まだ寝てるの？
あぁ…何か用か？
ええ あとで会議があるから あなたも出席するのよ 私の書記官ってことになってるんだから
わかったよ リーシャ
……それでねっ
そのあとは時間があるから…
もじもじ
…ああ
おわり

セックスファンタジー
1
maco
原作 鏡遊
SEX
FANTASY
国々が覇権を争う大地、メガレイシア大陸。
そこで戦場に君臨するのは屈強な戦士でも、老練な魔術師でもなく、
魔神の力を宿した「魔衣」をまとう美少女——魔衣姫たちであった。
戦乱の中、すべての美少女に愛（欲望）を伝えるために、
大陸各地を放浪している女好きの青年がいた。
彼の名はシード。
“異性を誘惑し心も体も堕とす能力”を持つシードと
最弱の魔衣姫との出会いが
メガレイシアにさらなる波乱を巻き起こす！
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY

SEX
FANTASY

SEX FANTASY
1
maco
原作 鏡遊
キャラクター原案 しおこんぶ
セックス・ファンタジー
SEX FANTASY
maco

SEX FANTASY

1

原作 鏡遊

キャラクター原案 しおこんぶ

ヴァンプコミックス

セックス・ファンタジー　1

著者　maco
原作　鏡 遊
キャラクター原案　しおこんぶ

2021年9月6日　発行
ver.001

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
ヴァンプコミックス『セックス・ファンタジー　1』
2021年9月6日　初版発行

発行者　青柳昌行
発行　株式会社ＫＡＤＯＫＡＷＡ
https://www.kadokawa.co.jp/
編集企画　アライブ編集部

●お問い合わせ
https://www.kadokawa.co.jp/　（「お問い合わせ」へお進みください）
※内容によっては、お答えできない場合があります。
※サポートは日本国内のみとさせていただきます。
※Japanese text only

装幀・デザイン　稲子靖［ERIDANUS］

初出　ComicWalker2021年3月19日～2021年8月13日配信分